

エジプト文明

- 「エジプト」---ギリシャ語の呼び名「()1❖a」から。
- 古代エジプト語では「()2」=「黒い土」の意味。
- 「エジプトは()3の賜物」(ヘロドトス「歴史」)
- ❖a---ギリシャ神話のエジプトの王。エジプトの語源。ローマ属州時代はアエギュプトス。



1. B.C.5000年代からの農耕

- ナイル川沿岸地帯
 - 東西両岸を()4に囲まれる。降雨は少ない。
 - 金、銀、()5などの石を産する。
- 上エジプト---アスワン第1急湍からメンフィス❖bまでの1000キロ。渓谷の中積層。
- 下エジプト---メンフィスから下流の三角州=()6地帯まで。

❖b---古王国時代の首都。ピラミッドの名メンネフェルから。元来は「白い壁」。

- 水源は6000キロ上流の()7高原(エチオピア)
- 初夏にモンスーンにより600ミリの降雨⇒下流域で9月に()8
- 耕地は冠水⇒黒い沃土「ナイル()9」をもたらす。
- 増水の開始---シリウスが朝方の空に現れる時期と一致⇒()10の発達
- 星の観測により氾濫を予測。1年を365日とする()11暦を作る。
- 3季---アケト(洪水期)、ペレット(播種期)、シェムウ(収穫期)
- 水の管理⇒大規模()12事業⇒統制する()13の発達。
- 耕地を毎年測量(冠水により)⇒()14の発達。税額の算定も。

栽培---大麦、小麦、花、野菜[ソラマメ、レンズマメ、キュウリ、レタス、タマネギ、ニンニクなど]

果実[ブドウ、イチヂク、ナツメヤシなど]

耕作---2頭の()15に間かせる犁耕(りこう)

灌漑---初期は()16灌漑。新王国時代に()17を発明。

「ナイロメーター」⇒()18計

農閑期

- 「()19期---()20、神殿、王宮などの建設。

⇒ B.C.4000年ごろまでにナイル川中下流域に都市国家=()21を形成。

()22⇒「ペーパー」の語源

- カヤツリグサ科の植物。和名カミガヤツリ。
- B.C.3100年ごろ、記録素材に()23(羊皮紙はB.C.1500年ごろから)
- 食用、船の素材、衣服、サンダル、網、建築、()23にもなる。
- 現代の紙とは異なる。紙の発明⇒A.D.105年、中国(漢)の()24による。



死者の書

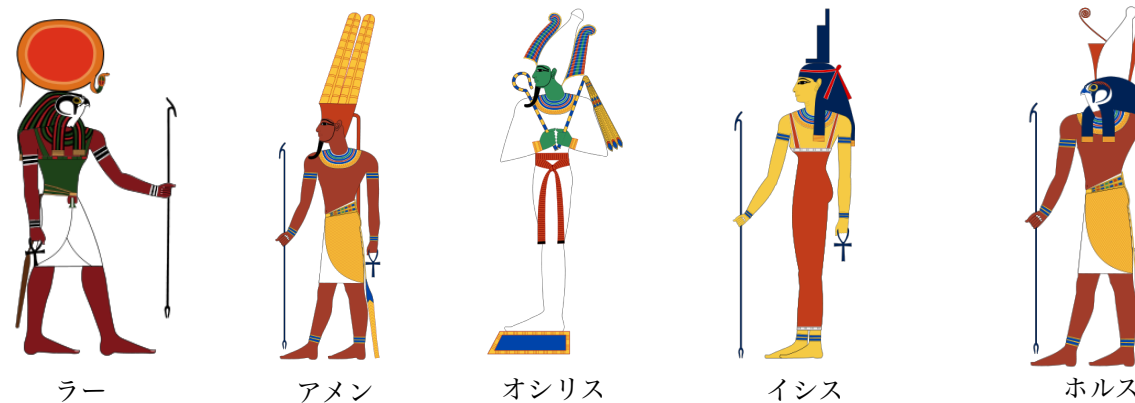


2. 古代エジプトの文化

エジプト---ナイル川と()25の国

- トルコ石、エメラルド、アメジスト、孔雀石、大理石、玄武岩、花こう岩。
- 金属は砂金と()26を産出。⇒B.C.2500年頃から()27を使用。
- 例⇒[()28=パリ、ニューヨークにも=は1つの花こう岩を彫ったもの。
- 石の制御---手斧、ちょうな、鋸⇒銅器。木器、網、石器による。

- 神々⇒()❖c29、アメン❖d=アモン(ともに太陽神)など全国に700種以上。
- ()30=「死の国」の神。死者を裁く。→「()31の書」
- ()32=ナイルを擬人化した母なる神。オシリスの妻。
- ()33=オシリスとイシスの子。ハヤブサの姿。



❖c---語源はRa(太陽)。ハヤブサの頭。古王国時代の主神。

❖d---Amen。中王国時代テーベの守護神。ラーと一体化し「アメン=ラー」として神々の主神となる。

文字⇒()34聖刻文字---B.C.3000年頃から。象形文字。

「[()35神官文字--- B.C.3000年頃から、神官・書記が使用。筆記体。

「[()36民衆文字---B.C.600年頃から、民衆が使う。

1799年 ナポレオンのエジプト遠征。「()37ストーン❖e」発見。

「黒色玄武岩の石碑。

「ヒエログリフ、デモティック、()38文字で記録。

❖e---港湾都市ロゼッタ(現ラシード)で発見。その後英軍に渡され、現在まで大英博物館に収蔵。

B.C.196年プトレマイオス5世の勅令を記した碑文。

1822年 J・F・シャンポリオン(1790~1832)が解読。

⇒王名から文字をギリシャ文字(アルファベット)に当てはめる。



- 牛 ・石 ・死者 ・燃料 ・砂漠 ・冠水 ・洪水 ・権力 ・数学 ・治水 ・蔡倫 ・溜池
- 水位 ・太陽(2) ・青銅器 ・銅鉱石 ・大理石 ・天文学 ・ラー ・ナイル ・デルタ
- ノモス ・イシス ・ホルス ・シルト ・ケメット ・オシリス ・ロゼッタ ・パピルス
- シャドーフ ・アビシニア ・ギリシャ ・ピラミッド ・アイギュプトス ・ヒエログリフ